

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	市単独道路整備事業	担当課	建設課
細分化した事業名			

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	心地よい定住環境のあるまちづくり	
	政策	便利な生活のための都市基盤の整備	
	施策	道路の整備	
関連する個別計画等		根拠条例等	道路法

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	地域住民の通行車両及び住民の安全を確保するため
事業の手段	市単独事業として、市内全地区からの要望を基に、道路の改良と舗装及び防災対策工事を行う。
事業の対象	地元住民・土地所有者・道路利用者

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	159,405	156,367	166,127
財源内訳	国・県支出金	6,000	5,000	25,450
	その他(使用料・借入金ほか)	64,900	14,700	83,451
	一般財源	88,505	136,667	57,226
B	担当職員数(職員E) (人)	0.59	0.59	1.59
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	4,023	3,945	10,321
D	総事業費(A+C) (千円)	163,428	160,312	176,448
主な事業費用の説明		工事請負費		

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 改良済道路延長累計	(m)	226,297	227,396	251,759
	2				
	3				
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明	1	市民生活上必要かつ重要な道路の整備は、必要不可欠である。			
	2				
	3				

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			23年度	24年度	25年度	
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	改良率(%)	改良済道路延長 251,759m/ 市道実延長 411,325m	56.09	57.5	61.2
	2	改良延長当たりコスト (円)	年度工事費 90,734 千円/年改良延長 1,352m	60,463	43,482	67,111
	3					
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない				
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	現在早期完成に向けて改良及び舗装工事を進めており、改良については全体の約61%が改良済である。現段階では予定どおり進捗している。				
	2					
	3					

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等 の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	26年度の改善計画(今後の事業展開説明) 幅員が狭く市民生活上使いづらい道路の拡幅整備は、各地区からの要望によるとまだまだニーズに追いついていないのが現状である。しかし、拡幅用地の提供が無ければ実現は困難であることから、用地の目処がついた箇所から実施している。また、大規模な道路損傷の修復を含めて、順次整備を行っていく。
過去の改善経過	H21年度電子納品管理システムの導入
課長所見	各地域より要望をもとに、緊急性・危険性を見ながら実施しているが、箇所数が多く、現場状況が悪化しており、予算の増額が必要である。